

令和3・4年度鹿児島県教育委員会指定「環境教育」研究協力校 宇検村立阿室小中学校公開研究会

令和4年12月9日(金)

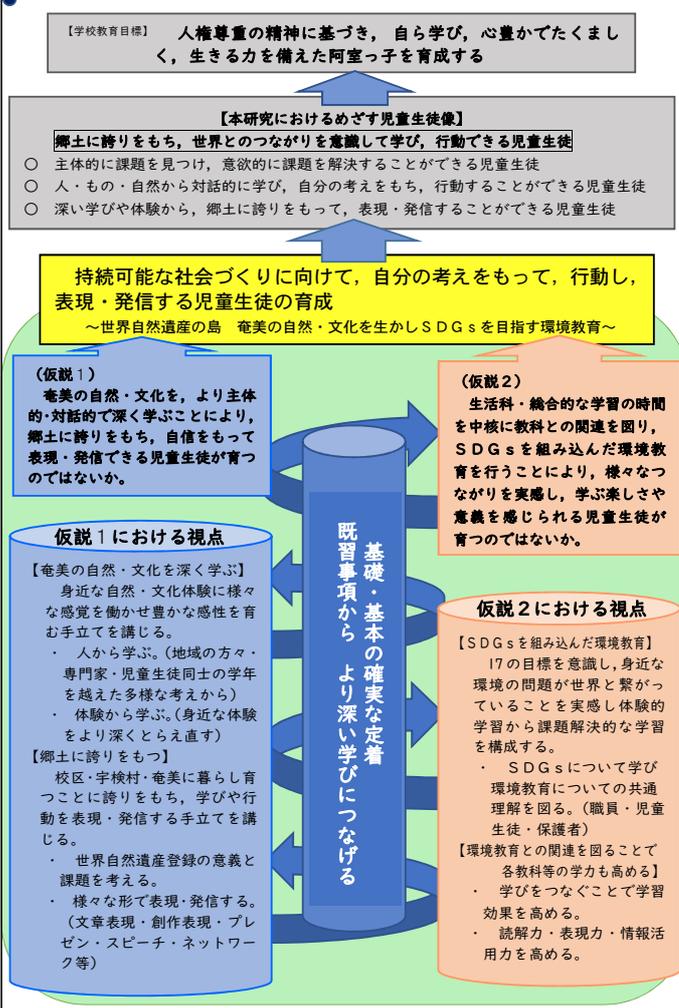
研究主題

持続可能な社会づくりに向けて、自分の考えをもって、
行動し、表現・発信する児童生徒の育成
～世界自然遺産の島 奄美の自然・文化を生かしSDGsを目指す環境教育～

主題設定の理由

- 1 学校教育におけるSDGsと関連させた環境教育を進めていく必要性
- 2 児童生徒がふるさとに誇りをもち、自然や環境・文化について考え、学び、発信することの教育的価値
- 3 持続可能な社会の担い手を育成するための横断的・総合的な学習活動の展開

研究の構想



研究の実際

- 1 仮説1における視点
 - (1) 奄美の自然・文化を深く学ぶ
 - ア 人から学ぶ
地域人材や専門家との連携
児童生徒同士の学年を越えた活動
 - イ 体験から学ぶ
稲作活動 阿室川の生き物調査
集落巡り
 - (2) 郷土に誇りをもち
 - ア 世界自然遺産登録の意義と課題を考える
サシバサミットでの発表
世界自然遺産登録イベントでの発表
 - イ 様々な形で表現・発信する
みどりの小道環境日記の文章表現
シマ唄の創作表現



田んぼの生態系の学習



阿室川の生き物調査



シマ唄の創作表現



みどりの小道環境日記 (児童の文章表現の経年変化)

- 2 仮説2における視点
 - (1) SDGsを組み込んだ環境教育
 - ア SDGsカードの活用
 - イ SDGs・環境教育校内掲示
 - (2) 環境教育との関連を図ることで高まる教科の学力
 - ア 学びをつなぐことで、学習効果を高める
各教科や領域との関連を図った学習形態
 - イ 読解力・表現力・情報活用力を高める
屋久島・沖縄・宮城の小学校、全国離島学校サミットの参加中学校(新潟・三重・福岡)との交流学習を通じた指導方法改善



SDGsカードの活用

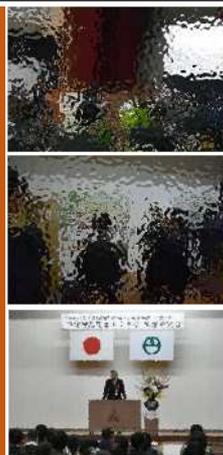


全国離島学校サミット

公開研究会の様子

【参加者 66人】
(小学校 45人, 中学校 21人)

全体会(研究発表・情報交換) 指導講話



研究授業(小総合) (英語)



小科会(研究協議) (指導助言)



参加された先生方の感想

- 阿室校の子供たちのこれまでの環境教育の積み重ねを感じる素晴らしい授業でした。環境教育は難しいものではなく、身近なところから取り組めるものであると改めて学ぶことができました。
- 今こそSDGsを取り入れた学習をしていく時を迎えていると感じ、関心があり参加しました。世界自然遺産に登録された奄美ならではの学びを展開されていることに感動しました。
- 生徒が奄美の自然のよさを体験したうえで英文を書いていたところが素晴らしい。また、ネイティブのゲストティーチャーとのやり取りで、より世界的な広い視野をもてたのではないかと思います。
- 授業以外にも生物の展示や各関係機関との情報交換の場があり、大変有意義であった。